2018年度　知財情報分析委員会
成果報告

『中国特許情報収集・分析手法の調査研究』

2019年3月14日

中国IPG　知財情報分析委員会
委員長：小林義典（パナソニックR&D蘇州有限公司）

0. 委員会メンバー

16社20名
参加

日立化成（中国）投資有限公司
三菱重工業（中国）有限公司
三菱電機（中国）有限公司
大王（南通）生活用品有限公司
上海金天知識産権代理有限公司
安川電機（中国）有限公司
豊田紡織（中国）有限公司
松下電器研究開発（蘇州）有限公司
東麗繊維研究所（中国）有限公司
コニカミノルタ（中国）投資有限公司　北京分公司
富士電機（中国）有限公司
日本技術貿易株式会社
アルプス（中国）有限公司
北京林達劉知識産権代理事務所
日東電工（中国）投資有限公司
パナソニック（中国）エコソリューションズ社

1．現状認識と課題

中国特許出願数は近年加速的に「増大」

・事業関連特許分析では2万、3万件の特許を
　鳥瞰する必要もあり

中国で利用できる特許分析ツールが複数存在

・ツールの特徴を1社ですべて評価するのは厳しい
・多面的な評価を行う必要がある
・各社のニーズに適したツールを選定したい

特許分析手法に習熟した知財スタッフは多くない

・同じ課題を持つ知財スタッフと課題を共有し
　実際にツール触ってみることが重要

2. 調査目的

企業活動に有用な知財情報の効率的な調査分析手法を調査し、修得する

①知財分析情報の調査
（既存情報の収集）

②特許情報分析手法の調査
（ツール調査、分析専門家交流）

③特許情報分析の実践
（特定テーマで分析実施）

3. 調査研究方法

推進テーマ	具体活動	着地見込
①中国知財関連既存分析情報の調査	・統計所在調査(annual、spot(特集)) ・特定分析情報・・・SIPO ■ネット、文献(白書など)調査 ■所在と、定期性と、データ特徴の整理	・業務で利用できる既存情報の種類、所在等の整理
②中国特許分析手法の調査	・統計分析ツール ・テキストマイニング(文本挖掘)ツール ・可視化ツール ■中国での分析ツール7件の対比 ■専門家・業者に訪問ヒアリング	・ツールの調査、評価 →目的毎の最適ツールの選定 ・ビジネスレベルの分析手法の把握
③分析の実践	・特定テーマで知財分析を企画、推進 ■分析テーマ設定 ■ツールの利用方法、出力結果の見方 特許情報分析の概要と課題を把握	・特許情報分析手法の修得

4. 研究に基づく成果

①中国知財関連既存分析情報の調査

5～9月で対応

- WEB情報、白書、公開資料、特許調査ツール、等を通じて
  『既に統計処理、分析処理された特許情報』を調査
  →手軽に引用できる情報を整理する

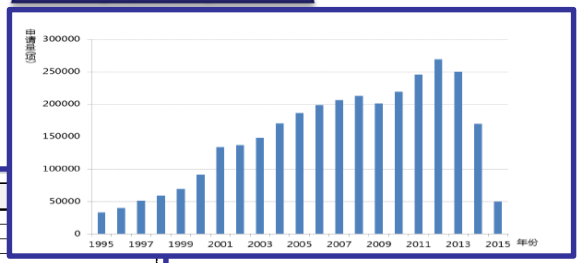
一覧表

NO	担当	分類	情報名/サイト名/概要 [リンク付き]
A1	事務	検索・分析ツール	中国裁判文件书网
A2	事務		无讼
A3	事務		专利查询の検索
A4	上海金天		专利检索及分析
A5	事務		中国特許照会システム
A6	NGB		CNIPR（中国版）［無料］
A7	NGB		CNIPR（中国版）［有料］
A8	東洋特		中国知识产权案件网
A9	事務		中睦文献 翻訳・検索システム
A10	三菱重工業		Espacenet
B1	村田	分析報告	中国技術交易所による特許分析報告
C1	旭硝子	専利局	国家知识产权局统计年报
C2	旭硝子		国家知识产权局专利行务工作及综合管理统计月报
C3	旭硝子		研究成果
C4	日立		专利统计简报
C5	アルプス		二〇一六年中国知识产权保护状况
C6	エプソン		政府信息公开年度报告
D1	安川電機	地方産権局	上海市知識産権局 信息公开指南
D2	安川電機		上海市知識産権局 专利申请量统计
D3	IP forward		2016年上海知识产权白皮书
D4	IP forward		广州知识产权发展与保护状况（2016年）
E1	大王製紙	裁判・訴訟	最高人民法院知识产权案件年度报告（2016）
E2	ユニ		中国法院知识产权司法保护状况（2016年）
E3	旭硝子		北京知识产权法院司法保护状况数据报告（2013）
E4	上海金天		上海知识产权司法保护状况白皮书（2015）
E5	オリンパス		上海知识产权法院发布年度审判白皮书
E6	富士電機		中国保护知识产权网
E7	Sinofaith		北京市专利侵权案件数据分析报告
E8	Sinofaith		上海市专利侵权案件大数据分析报告
E9	Sinofaith		深圳市知识产权侵权案件大数据分析报告

詳細

NO	担当	分類	情報名/サイト名/概要 [リンク付き]	取得可能情報
A1	事務	検索・分析ツール	中国裁判文件书网	刑事案件、民事案件、行政案件、賠償案件、執行案件の検索
A2	事務		无讼	案例、法規、弁護士の検索及び分析
A3	事務		专利查询の検索	口頭審理公告と審査決定の検索
A4	上海金天		专利检索及分析	
A5	事務		中国特許照会システム	●中国専利（特、実、意）公報 ・中国特許審査照会システム（出願番号、発明の名称、出願人、発明の種類、出願日） ●外国特許公報 ・多国特許審査照会システム（番号種別、国、出願番号、文献類型（A, A1, A2, B, B1, B2）
A6	NGB		CNIPR（中国版）［無料］	中国を含む数十カ国の特許データが収録されている。http://search.cnipr.com/searchIdataScope.action 無料ユIDを登録すれば、検索はできるが、ヒットされた件の詳細は一切見れないし、ダウンロードできない。
A7	NGB		CNIPR（中国版）［有料］	L1,L4,L5三種類の有料プランがあり、その説明はhttp://search.cnipr.com/help/cgxsm.jspを御覧頂きたい。 各種書誌事項による検索はどのプランでも可能。 L4以上は、特許の審査情報（経歴、審査担保、実施）等が検索できる。L5は特実同時出願も検索できる。
A8	東洋特		中国知识产权案件网	①侵害無効（特許）、裁判文章、法律法規が検索できる。 ②検索範囲：すべて、侵害（無効）請求人、請求（特許権）者、審判員団団長 ③侵害無効データ50784、裁判文章データ122594、法律法規データ7182
A9	事務		中睦文献 翻訳・検索システム	●中睦特許・実用新案の公開及び登録公報 ・公報テキスト検索（発行国（中、睦）、発行種別（特許、実用）、文献種別（公開、登録）、公知日、出願日、フリー検索）
A10	三菱重工業		Espacenet	
B1	村田	分析報告	中国技術交易所による特許分析報告	
				以下に関する1985年～2015年統計年報。 専利出願受理状況 専利出願構成状況

イメージ



・2017年度に作成したDBをUPDATE

4. 研究に基づく成果

②中国特許分析ツールの対比調査

各社保有・利用ツールの調査（検索～分析～可視化）

対比調査対象の選定（検索＋分析 5種類／分析 2種類）

incoPat　patsnap 智慧芽　INNOJOY. 专利搜索引擎　Patentics 专利智能检索分析平台　专利信息服务平台 search.cnipr.com

TECRES 特乐思 PATENTMAP 专利清析导航　KH Coder

対比調査基準の策定

①検索機能　（操作性、速度、サーバアクセス性、2次検索、等）

②分析機能　（PRE処理、分析種別・数、分析制限、2次分析、等）

③テキストマイニング　（分かち書き、対応件数、分析時間、可視化、等）

4. 研究に基づく成果

総合点数集計

※（　）内は項目数	incopat	PatSnap	Patentics	KHCoder	TECRES	CNIPR	Innojoy
操作性（3）							
利便性（7）							
機能性（5）							
分析範囲（2）							
速度（2）							
信頼性（1）							

同一のメンバー6名が
それぞれのツールを同じ基準で評価

技術調査	1位＞2位＞3位
傾向調査、データ統計	
特許価値評価	
出願動向調査	
萌芽技術探索	
他社調査	

4. 研究に基づく成果

分析シーンに適したツールの提案

目的	知りたい内容
技術の把握	技術分野の全体像を知りたい
	アイディア検討の叩き台がほしい
	今までの出願状況の数字化データをほしい
関連事業の把握	検討する技術の出願傾向を調査したい
	特定技術のリスクの評価したい
	今所有の特許の価値を知りたい
コンペティターと協力の調査	コンペティターの動向を知りたい
	協力相手（M&A）を調べたい
萌芽技術を知りたい	業界に関する最も新しい特許を調べたい
調達先の探索	特定技術（商品）の調達会社を調べたい

適したツールを提案

4. 研究に基づく成果

①既存の知財関連分析情報DBのUPDATEを行い
　　且つ2018年度版の情報を追記した

②7つの知財分析ツールを3つの角度で評価し
　・各ツールの特徴を対比比較した
　・目的分析シーンごとに適したツール情報を
　　明確にした

※本年度、演習は未達。各社で対応してもらう
※対比評価はあくまで委員会内部の結果であり、
　　公開は控えさせて頂きます。ご了承ください

5. 実務への提言

今回の知見に基づき、各社でニーズに応じたツール選定を行うと、効率的な利用ができると思われる

特許分析人員の継続的な育成は不可欠

（特に手法全体像の把握、分析企画、
分析ノウハウ把握(ツール特性等)、等）

6. 積み残された課題

継続

- **特許分析結果の考察手法修得**
  - ①演習～委員会内部での分析～検討実施
  - ②分析専門家へのインタビュー及びレビュー
  - ③日本の有識者との情報交換（調整中）

※更に深い評価・分析テーマについては
有志にてタスクフォース（少数・非公開）を設置して
調査・研究することも視野に入れています

2019年度も委員会継続予定

ご清聴頂き、ありがとうございました

メンバーの皆さん、
一年間ご苦労様でした！